

一八八七番

かすが
春日なる 三笠の山に 月も出でぬかも 佐紀山
みかさ やま つぎ い さきやま
に 咲ける桜の花の見ゆべく

一八八八番

しらゆき
白雪の 常敷く冬は 過ぎにけらしも 春霞た
つねし ふゆ す はるかすみ
なびく野辺の うぐひす鳴くも

一八八九番

わがやどの 毛桃の下に 月夜さし 下心よし
けもも した つくよ したころ
うたてこのころ